



↑東シナ海に発生した竜巻。本町職員が撮影

指江港沖に竜巻発生

10月9日の午後、本町西側の東シナ海に竜巻とみられる現象が相次いで目撃されました。

午後零時すぎ、指江の長島分遣所に住民から「竜巻が見える」との連絡があり、職員が確認すると、指江港の沖合いに上空の雲が海水を吸い上げる渦が見えました。まもなく指江の林に上陸後、消滅しました。

この日は台風15号が弱まった温帯低気圧が接近しており、同様の現象が午後2時と3時ごろ確認されています。

メカニズム

竜巻の発生過程は、まだ明確には解明されていませんが、回転する積乱雲（親雲という）から生じることがわかっています。日本では台風の接近に伴って竜巻が多発することが多いようです。通常は親雲から1個の竜巻が発生するだけですが、時には最初の竜巻が消滅した後に第2第3の竜巻が続けてできることもあります。特にアメリカ大陸ではこうした連続発生がしばしば見られ、6個連続発生したこともあるそうです。